

令和7年度（補正予算）障害福祉分野の介護テクノロジー導入支援事業補助金を活用し高機能マットレスを導入しました

独立行政法人国立病院機構東長野病院

当院では、長野県の「令和7年度（補正予算）障害福祉分野の介護テクノロジー導入支援事業補助金」を活用し、短期入所における支援の質の向上及び職員の業務負担軽減を目的として、高機能マットレス（自動運転）を導入しました。

1. 導入概要

補助事業名	令和7年度（補正予算）障害福祉分野の介護テクノロジー導入支援事業補助金
導入事業所	独立行政法人国立病院機構東長野病院
対象サービス	短期入所
導入機器	高機能マットレス（自動運転）「SCOPE（スコープ）」
導入目的	利用者様への安全で快適な支援の提供、体位変換・ポジショニング業務の省力化、職員の身体的負担の軽減

2. 導入の背景

当院の短期入所では、重症心身障害児者を対象に、日常的な体位変換・ポジショニングを実施しています。これまでは職員による人力での対応が中心であり、利用者様一人ひとりの状態に応じた支援を行う一方で、職員の腰部・肩関節等への身体的負担、夜間を含む継続的な支援体制の確保が課題となっていました。

また、適切な体位変換やポジショニングは、褥瘡予防や安楽な姿勢の保持にも重要であり、利用者様の安全性と快適性を高めるため、介護テクノロジーの活用による支援体制の強化が必要と考えました。

3. 導入した機器の特徴

今回導入した高機能マットレス「SCOPE（スコープ）」は、内部センサーと自動膨張機能により、利用者様の状態に応じて安全な角度で自動的に姿勢調整を行う介護テクノロジーです。

全自動運転や体圧の可視化機能により、職員による操作負担を抑えながら、利用者様の身体状況に応じた体圧調整やポジショニングケアを支援します。

4. 導入による効果

本機器の導入により、体位変換・ポジショニング業務の一部を自動化・省力化することが可能となり、職員の身体的負担の軽減が期待されます。

利用者様1名あたり1日約15分の体位変換等に係る作業時間について、1台あたり年間5,475分（約91時間）の負担軽減効果を見込んでいます。これにより、職員が確保した時間を清潔ケア、記録業務、リスク管理等の質の高いケアに再配分し、業務効率化とサービスの質の向上につなげていきます。

さらに、適切な圧調整や体位変換の支援により、褥瘡予防をはじめとした利用者様の安全性向上にも寄与するものと考えています。

5. 今後について

今後も、本機器を日々の支援場面で有効に活用し、利用者様にとって安全で快適な支援環境づくりを進めてまいります。あわせて、職員にとっても安心して働き続けられる職場環境の整備に取り組み、支援の質の向上に努めてまいります。